

令和5年度 警察本部補正予算(一般会計)要求の概要

(単位：千円)

補正要求額	5年度累計額	4年度当初予算額	増減額	増減率
310,186	27,107,693	26,840,003	267,690	1.0%

○ 要求のポイント

1 安心元気

【基本方針】

犯罪に強い地域社会の確立のため、犯罪捜査や行方不明者捜索のための体制強化に向けた取組を推進します。

また、人に優しい安全で安心な交通社会の実現のため、信号機等の交通安全施設を整備するほか、交通事故の抑止に向けた取組を強化します。

(1) 犯罪に強い地域社会の確立

銃器・薬物犯罪の捜査や行方不明者の捜索・救助にあたる体制を強化するため、警察が直接管理運用する警察犬(直轄警察犬)の導入に向けた取組を推進します。

(2) 人に優しい安全で安心な交通社会の実現

交通の安全と円滑を確保するため、信号機を新設するほか、道路標識等の交通安全施設の更新整備を行います。

また、高校生・高齢者を対象に、スタントマンを活用したスケアード・ストレイト方式による交通安全教育を実施し、自転車や電動キックボード利用者の交通事故抑止を図ります。

令和5年度 警察本部補正予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail:s61100@pref.oita.jp(警察本部会計課)

令和5年度 補正予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：警察本部）

（単位：千円）

事業名	令和5年度 補正要求額 ＜累計額＞ 〔令和4年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
1 警察犬運用体制強化事業	1,660 ＜1,660＞ (0)	犯罪捜査や行方不明者捜索活動等の体制を強化するため、警察が直接管理運用する警察犬（直轄警察犬）の導入に向けた取組を推進する。	鑑識課
2 交通安全施設整備費	303,246 ＜883,845＞ (865,242)	安全で円滑な道路交通を確保するため、信号機や道路標識等の交通安全施設の整備を行う。	交通規制課
3 交通事故防止総合対策事業	5,280 ＜47,380＞ (60,393)	自転車や電動キックボードによる交通事故を抑止するため、高校生及び高齢者を対象に交通安全教育を実施する。 【特】 スケアード・ストレイト方式（スタントマンによる事故再現）を活用した交通安全教育の実施	交通企画課

※ (特) は「新おおいた創造・発展枠事業」